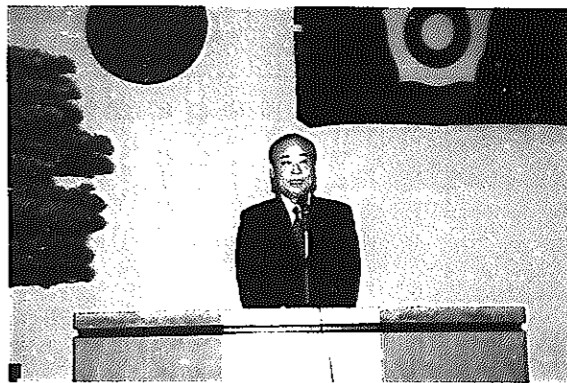


まちの話題

21世紀に臨んだ自治体制の確立を

高橋助役就任式



十月一日、青年教育センターで市助役の就任式が行われ、新しい助役には前収入役の高橋務氏が就任しました。高橋氏は昭和二十七年に大郷村役場に奉職。以来、総務課長、企画調整課長などを歴任後、平成六年四月から収入役を五年半にわたって務めてこられました。

就任式に臨んだ高橋助役は職員を前にあいさつ。「二十一世紀を間近に控え、地方自治体を取り巻く環境は大きな変化を迎えます。市長の補助者として今まで以上に心を新たに、市民福祉の向上と市政発展のために一生懸命努力します」と決意を述べました。

ミニパークの建設にかかる補正予算案を可決

第7回 白根市議会臨時会

九月三十日、第七回白根市議会臨時会が開かれ、提案された二議案が原案通り可決されました。

●可決された議案

- ・平成十一年度白根市一般会計補正予算(第四号)
- ・平成十一年度白根市土地取得特別会計補正予算(第一号)

歳入・歳出に八千六百十五万四千円を追加して、予算総額を百二十四億六千二百六十七万六千円としました。これは、四の町の旧吉文商店跡地を利用してミニパーク施設の建設を行うこととしたもので、財源として、臨時経済対策債の追加を行いました。

・平成十一年度白根市土地取得特別会計補正予算(第一号)

歳入・歳出に四千九百六十五万四千円を追加して、予算総額を五千五百九十六万六千円としました。これは、一般会計補正予算に関連して行うもので、歳入ではミニパーク用地の一般会計への売却収入を、歳出ではこの売却収入の土地開発基金への繰り出し金を計上しました。

「緑日っこ」で地域交流 大鷲 保育園



地域の人たちとの交流を深めようと、九月十日、大鷲地区農村公園で大鷲保育園の「緑日っこ」が行われ、園児、保護者、地域の人たち約二百三十人が参加しました。

保育園から公園まで「わっしょい、わっしょい」と、元気におみこしを担いできた園児たちは「花笠音頭」や「日本全国元氣音頭」の踊りを披露。かわいらしい姿に、大きな拍手が贈られました。その後、お菓子のつかみ取り、手作りおもちゃなどの出店コーナーで、「緑日っこ」の楽しい一日を過ごしました。

二人そろってベスト8 「白根アトム」の岡田君、籠島さん

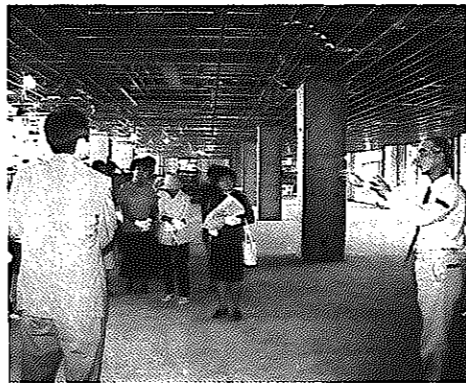


九月十一日、十二日の二日間、兵庫県姫路市で「全日本卓球選手権大会」が開催されました。この大会に、ジュニア卓球チーム「白根アトム」の岡田彰仁さん(白根小二年)、籠島江梨佳さん(小林小二年)がバンビ(小学生二年以下)の部でそろってベスト8に入りました。

「岡田君は、目標を達成できたと満足していました。籠島さんは接戦で負けたので、とても悔しがっていましたが」と梅津喜広監督。「十年後の新潟国体を目指して育成していきたい」と話しています。

もうすぐ生まれる「活動の拠点」

白根学習館見学会・白根学習館開館に向けての講演会



市では市民の生涯学習活動の拠点施設づくりとして、平成十二年六月のオープンを目指し「白根学習館」の建設を進めています。工事の進み具合はおよそ半分を超え、外観が整いつつあります。

社会教育課では「実物を見ることで一日でも早く同館に親しみをもち、完成後の利用を思い描いてもらいたい」と、九月二十五日、同館内部の見学会を行いました。午前と午後に分けて行われた見学会に、参加した市民はおよそ六十人。公開されたのは、一階の図書館、ホールの一部、二階の理科教育センターやコンピュータ室、研修室の公民館部分など、施設のほとんどです。

参加者は、市の職員や工事関係者の説明を聞きながら施設を巡回。これから入る設備について質問したり、

また、九月十九日には、青年教育センターで「白根学習館に期待する」と題した講演会が同課の主催により行われました。講師は新潟大学教育人間科学部の齊藤勉教授。講演会には、およそ五十人の市民が参加しました。齊藤教授は「社会の変化により、学習ニーズは多様化・高度化している。学習者の個性にこたえられる施設がなければ、生涯学習社会の構築に向けた社会教育行政は行えない。学習者のニーズにこたえる施設として、白根学習館に期待する」と話しました。また「これからの公民館の在り方は」という参加者の質問に、「公民館は事業を行うばかりでなく、サークル(自立した学習者を育てる。そしてサークルが、独立した学習や施設利用を行う方法もある)など、公民館利用の可能性について語りました。

歩いて歩いて健康づくり '99健康ウォーク フェスティバル



九月二十三日、カルチャーセンターと白根地区公民館主催の健康ウォークフェスティバルが開かれました。コースはカルチャーセンターを発着場所に、月潟村の下曲を折り返し地点とした七キロと八・五キロの二つ。親子連れからお年寄りまで、およそ二百人の参加者がウォーキングを楽しみました。

到着後は、白根市赤十字奉仕団の振る舞ってくれた豚汁で栄養補給。疲れをいやしました。また、プレゼントの当たる抽選会も行われるなど、参加者の好評を得ていました。

百歳の長寿を祝って 板谷ミヤさん(小坂)を表彰 訪問



敬老の日の九月十五日、県の代表者と竹内市長が今年百歳を迎える板谷ミヤさん(小坂)を表彰訪問し、お祝い状と記念品を手渡しました。板谷さんは明治三十三年十月五日生まれ。市内では二番目の長寿です。

竹内市長が「お元氣そうですね」と声を掛けると、着物を着てきちんと座布団に座った板谷さんはうれしそうにうなずいていました。「昔の人間なので、一生懸命働いて体が鍛えられたんでしょう。皆さんに祝っていたら嬉しいです」と、孫の秋芳さんは話しています。

※おわびと訂正 10月1日号7ページ「もうすぐ始まる介護保険」の中で、10月29日の白井と白根地区の説明会の時間は「午前7時30分～」ではなく「午後7時30分～」の誤りでした。おわびして訂正します。